

国際新署名「核兵器のない世界を」を広げよう



# 岡山県原水協通信

2009年12月17日 No107  
原水爆禁止岡山県協議会  
700-0981 岡山市西島田町4-25  
TEL086-244-4526 (F)805-6172  
[kenmin@po5.oninet.ne.jp](mailto:kenmin@po5.oninet.ne.jp)

## 普天間基地の即時無条件返還を 安保50年 闘いの決意固める 09年平和大会開く

2009年日本平和大会が12月11日～13日の3日間、神奈川県で開かれました。大会にはのべ3200人が参加し、沖縄の普天間基地の即時返還、米原子力空母の横須賀母港化反対などの要求をかがけ闘う決意をかためました。

基調報告をした日本平和委員会の千坂事務局長は、鳩山新政権が「日米軍事同盟を基軸」にしていることが国民の平和の要求と矛盾を深めていると指摘。米軍事基地の縮小・撤去や、核兵器のない世界の実現、自衛隊の海外派兵中止などとともに、来年の安保条約改定50年に向け、日米軍事同盟廃棄の世論を広げていこうと呼びかけました。

沖縄から参加した、普天間基地撤去、辺野古への新基地反対、米軍ヘリ発着帯建設反対の高江の代表の訴えには会場からひととき大きな連帯の拍



普天間基地の無条件撤去を訴える沖縄の代表 12/11

手がわきました。大会は2日目の分科会・動く分科会、3日目の閉会総会といずれも参加者の熱い思いが一体となった大会として大きく成功しました。

岡山県代表は12団体から17名が参加しました。

## 岡山県被爆者会に年末募金贈呈

岡山県原水協は12月15日、岡山県被爆者会に被爆者援護・連帯募金を贈呈しました。

県庁内の会議室で行われた贈呈式には県被爆者会妹尾会長、平末副会長が出席、原水協から中尾代表、平井事務局長、村上次長、豊田新婦人会長が参加しました。中尾代表は「被爆者の命をかけた闘いが裁判21連勝という状況を作りだしました。しかし8000人の審査滞留など課題は山積、体に気をつけ一緒にがんばりましょう」と妹尾会長に募金を渡しました。妹尾会長は「大変ありがとうございました。」と挨拶されました。



県被爆者会長(右)に募金を渡す県原水協中尾代表ら



## 笠岡 高木市長 呼びかけ人 了承 市民ぐるみの署名運動にはずみ

1月9日の「署名スタート集会」にむけ準備を進めている笠岡の準備会は12月16日、高木市長に署名運動の呼びかけ人になっていただくよう要請をおこないました。高木市長は快く引き受けて下さいました。(要請する準備会の代表 中央が高木市長12/16)